

学校法人白頭学院  
理事会・評議会貴下

## 2019年度 学校関係者評価

2020年3月27日  
学校法人 白頭学院  
建国中学校  
学校関係者評価委員会

### ○学校関係者評価実施について

- ・日時 2020年2月20日
- ・場所：白頭学院会議室
- ・学校関係者評価委員会構成（参加者）4名  
金 順子（PTA会長） 呉 尹順（PTA副会長） 倉澤 優子（保護者） 洪 隆男（教頭）

### ○学校関係者評価内容

- ・生徒・保護者のアンケート並びに教員による自己評価に対してその妥当性を評価し、又改善案などの意見交換を実施。

#### 【教育目標関連】

- ①本校創立の精神と歴史を理解している。生徒肯定意見（A+B）45%
- ②本校の教育理念・目標を理解している。生徒肯定意見（A+B）40%  
生徒の背景が様々な為、理解に差があるものと思われる。本校創立意義や民族的理解に関しては、個々の生徒に合わせた内容で、伝えていく必要性を感じる。
- ⑬先輩や先生など目上の人にていねいな言葉遣いをしている。  
生徒肯定意見 92%に対し教員 43%と温度差がみられる。

#### 【学習関連】

- ④授業は集中して受けている。生徒肯定意見 84%と高いことに驚く。  
授業参観時には、集中しているように見えなかった。建国を選んで授業料を負担している保護者としては、全体が集中できる授業を望む。
- ⑥授業の分からない所などについて質問しやすい。  
生徒肯定意見 57%に対し教員 100%と認識に大きな違いがある。  
生徒は学習意欲はあるが勉強が分からない状態にあると思われる。生徒に合わせた、分かる・できる授業の工夫が必要であり、基礎学力向上の為の補充時間やテスト前の補習の見直しが学力の底上げに繋がると考える。又、宿題についても教員と生徒の思いがマッチしていない。家庭での課題として宿題を出しているが、生徒が取り組まないのでは意味がない。教師と生徒との間の共通理解がずれているのではないだろうか。生徒が主体的に取り組めるような工夫が必要なのではと思われる。

### 【教育環境】

⑭悩みを相談する環境がある。生徒肯定意見 50%に対し教員 100%である。

思春期の子供達は、大人に対して背を向け始め、葛藤を抱える時期でもある。そのため自分から思いを口に出す事ができず伝えることが難しいのではないのだろうか。この時期に、どのような立ち位置で接していかなければならないのかと考え、家庭と学校とが更に連携して子供達を育てていく方策を講じることが大切である。生徒数に対するカウンセラーの増員・回数を増やして頂くことも効果的であると考えます。

この時期は大人よりも友達に相談することが多いと思われるので、次回アンケートに友人関係は良好か？等の設問を入れてもらいたい。

⑨学校行事は充実していて楽しい。

学年が上がるにつれて低い評価である。中3年生は勉強のプレッシャーやマナーを感じているのかもしれない。生徒の主体的な活動を入れるなど行事の内容の見直しも必要ではないだろうか。

### 【総論】

アンケート全体から見ると全体的に肯定的な意見が多かったように思う。

だが、学年が上がるにつれて低い評価であることを考慮し改善を望む。

学習面では生徒・保護者・教員で意識に大きな違いがある。本来ならば生徒が100%満足であってほしい。生徒のアンケート結果をうまく取り入れていただきたい。生徒が追求意欲をもてる課題の設定、解決に見通しをもち、仲間と交流しながら自分の考えを構築できる場の工夫、習得した内容を確実に定着させるための演習の在り方についての検討を重ね、学習面・心理面の支えも合わせて充実した学校生活を送れることを期待する。

昨年も同意見があったが記述欄があれば設問の他に感じることを書き込めるので要望したい。